

未来のために、今やるべきことがある

環境活動レポート



2018年9月26日
(対象期間：2017年4月1日～2018年3月31日)



株式会社 **エコフスプラント**

株式会社エコスプラントは産業廃棄物処理業を通し、「THINK GLOBALLY ACT LOCALLY」の精神のもと、来るべき「ゼロ・カーボン社会」に向けて地球とともに環境を創造してまいります。

C
O
N
T
E
N
T
S

環境管理体制・エコアクション21環境方針	page2
会社概要・組織図	page3
事業概要・その他事業	page4
許可の内容	page5
安全・環境への取り組み	page7
施設等の状況(収集運搬車両・容器の種類・低排出ガス車導入状況)	page9
施設等の状況(積替え保管施設)	page10
施設等の状況(中間処理施設)	page11
事業規模の推移	page13
エコアクション21環境目標	page14
環境保全活動の取り組み結果の評価・環境活動計画の概要・取組結果	page15
CO2収支	page16
今年度の反省及び次年度の取組内容・代表者のコメント・その他環境活動・社会貢献活動	page17

■環境管理体制

環境管理責任者
澤田 鉄平

環境管理事務局
澤田 鉄平

統括安全衛生責任者
中野 和年

安全管理責任者
山下 大貴

公害防止管理者
緑川 幸一

運行管理責任者
中野 和年

衛生管理者
緑川 幸一

防火・防災管理者
五井 直人

遵法監視責任者
長南 裕子

エコアクション21 環境方針

2012年4月2日

基本理念

株式会社エコスプラントは、産業廃棄物収集運搬・中間処理業を通し、資源循環型社会構築へ貢献し、環境を創造する企業をめざします。

方針

- 1 環境経営システムを活用し、環境経営を積極的に推進し、環境負荷の継続的改善に努めます。
- 2 当社業務に適用される環境関連法規等を遵守します。
- 3 当社の産業廃棄物処理業という事業特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。
 - ① エネルギーの使用量を削減し、地球温暖化防止のために二酸化炭素の搬出削減に努めます。
 - ② 自社廃棄物の搬出量の削減、リサイクルの推進に努めます。
 - ③ 節水を徹底し、排水量の削減に努めます。
 - ④ 地域へ影響を与える悪臭・振動・騒音の発生防止に努め、環境美化を積極的に推進します。
 - ⑤ 受託廃棄物のリサイクル率向上に努めます。
 - ⑥ グリーン購入を推進します。
- 4 この環境経営システムの機能を有効にする為に社内体制を確立し全従業員への環境教育・啓発に努めます。
- 5 この環境方針を実現する為に、環境目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

代表取締役 浅尾 洋和



株式会社 エコスプラント



■ 会社概要・組織図

事業所名及び代表者

- ・株式会社 エコワスプラント
- ・代表取締役 浅尾 洋和

所在地

- ・本社・日の出リサイクルプラント: 東京都西多摩郡日の出町平井34番地1
- ・あきる野リサイクルプラント: 東京都あきる野市養沢1095番地

事業活動

- ・産業廃棄物及び一般廃棄物中間処理業
- ・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物及び一般廃棄物収集運搬業
- ・リサイクル製品製造業
- ・解体工事業
- ・フロン回収業
- ・計量証明事業

対象事業所

- ・本社
- ・日の出リサイクルプラント
- ・日の出デポステーション
- ・あきる野リサイクルプラント
- ・あきる野デポステーション
- ・収集運搬車両駐車場

環境管理責任者・事務局連絡先

- ・環境管理責任者(経営企画部): 澤田鉄平
- ・事務局 (経営企画部): 山下大貴
- ・電話: 042-588-0072
- ・FAX: 042-588-0425

HPアドレス

- ・ <https://www.ecowasplant.co.jp/>

法人設立年月日

- ・ 1999年1月18日

資本金

- ・ 6,000万円

売上高

- ・ 958,384千円(2016年度)

部門		業務		
法規委員会		法令管理・監視・内部監査・教育訓練		
エコアクション21委員会		エコアクション21運営実施、管理		
安全衛生委員会		安全衛生管理・安全教育		
事業本部 代表取締役社長 株主総会	【業務部】 [現業課]	安全衛生・労務管理・環境管理・教育訓練・要員管理、原価管理 等		
		日の出プラントG	施設管理、保全・運営 等	
		あきる野プラントG	施設管理、保全・運営 等	
		公共事業G	公共事業請負業務	
	【営業部】	[営業課]	営業G	処理業務受託・提案・契約 等
		[運行管理課]	配車/整備G	乗務員労務管理・車両管理・配車業務・教育訓練 等
			乗務員G	収集運搬業務 等
	フロン回収事業部		※兼務社員による フロンガス回収事業受託・施工管理 等	
	解体工事業部		※兼務社員による 家屋解体工事受託・施工管理 等	
	経営本部	【経営管理部】	請求管理G	請求・入金管理・支払管理 等
経理G			財務管理 等	
		業務G	売上・マニフェスト管理・取引先管理 等	
【経営企画部】		情報管理・法務G	行政対応・指名参加・事前協議・情報集計 等	
		営業支援G	契約管理・実績報告・営業資料作成 等	
	企画・開発G	リサイクル技術開発・処理ルート開拓		

2018.3.31現在: 従業員81名(正社員38名、契約社員30名、パート11名、アルバイト2名)

■事業概要・その他事業

環境創造企業として、廃棄物処理はもとより、廃棄物の排出抑制及び再資源化に係わるトータルな環境ビジネスをご提供しています。



日の出リサイクルプラント・日の出デポステーション

- 産業廃棄物処分業
- 産業廃棄物収集運搬業
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 一般廃棄物処分業
- 一般廃棄物収集運搬業
- 解体工事業
- リサイクル製品製造販売業
- 計量証明事業業
- フロン回収業



建設業許可(とび土工事業)
東京都知事許可(般-26)第111936号

■家屋解体工事
各種内装解体工事を承っています。お見積りから施工、収集運搬・処分まで一貫して行っております。



東京都登録番号 13102342

■フロン回収事業
エアコンなどから排出される各種フロン類を回収し、適正に処理を行います。



あきる野リサイクルプラント・あきる野デポステーション

- 産業廃棄物処分業
- 産業廃棄物収集運搬業



ランドマーカ-「エコフライン」

■再生品製造販売
当社の石膏ボード専用設備により、土壌改良材やランドマーカ-を製造しています。ランドマーカ-は地元西多摩地区から千葉県にいたるまで、各幼稚園、小中学校で使用されています。



東京都登録番号 第1231号

■計量証明事業
40t台貫による重量における計量を証明しています。

許可内容

中間処理はもとより、各地の収集運搬業において優良認定を受けております。また、東京都が独自に認定している第三者優良評価制度においても、第一区分である「産廃エキスパート」の認定を受けています。



【産業廃棄物中間処理業】(2018.3.31現在)

行政	東京都					
許可番号	第13-20-072577号					
許可年月日	平成26年12月2日					
許可期限	平成33年12月1日					
1.事業の範囲						
(1)業の区分	処分(中間処理)					
(2)中間処理の方法と産業廃棄物の種類	破碎	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類(以上8種類)				
	圧縮・梱包	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず(グラスウール及びロックウールに限る)(以上5種類)				
	溶融	廃プラスチック類(発砲スチロール・スチレンフォームに限る)(以上1種類)				
2.事業の用に供する施設						
施設住所:(1)東京都あきる野市養沢字大平1095番地、1096番地						
施設種類	産業廃棄物の種類	単独処理能力	混合処理能力	設置年月日	許可番号	施設許可年月日
破碎	廃プラスチック類	3.5(t/日)	11.0(t/日)	-----	産施第52008号	平成13年2月1日
	紙くず	7.0(t/日)				
	木くず	14.0(t/日)				
	繊維くず	4.5(t/日)				
	金属くず	7.0(t/日)				
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	10.5(t/日)				
	がれき類	18.7(t/日)				
施設住所:(2)東京都西多摩郡日の出町平井34番地1、34番地2、34番地10						
破碎	廃プラスチック類	64.5(t/日)	226.1(t/日)	平成15年5月23日	産施第10013号	平成15年4月1日
	紙くず	114.7(t/日)				
	木くず	157.9(t/日)				
	繊維くず	64.5(t/日)				
	ゴムくず	57.3(t/日)				
	金属くず	121.9(t/日)				
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	537.6(t/日)				
がれき類	609.6(t/日)					
破碎	廃プラスチック類	19.6(t/日)	53.9(t/日)	平成15年5月23日	産施第10013号	平成15年4月1日
	紙くず	32.6(t/日)				
	木くず	62.8(t/日)				
	繊維くず	23.5(t/日)				
破碎	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(グラスウール及びロックウールに限る)	3.3(t/日)	-----	平成15年5月23日	-----	-----
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボードに限る)	24.0(t/日)				
圧縮・梱包	廃プラスチック類	211.0(t/日)	224.0(t/日)	平成23年7月20日	-----	-----
	紙くず	217.0(t/日)				
	木くず	283.0(t/日)				
	繊維くず	354.0(t/日)				
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(グラスウール及びロックウールに限る)	154.0(t/日)				
溶融	廃プラスチック類(発砲スチロール・スチレンフォームに限る)	0.48(t/日)	-----	平成25年10月2日	-----	-----
3.許可の条件						
(1)作業時間は、あきる野市養沢字大平1095番地、1096番地に所在の施設については、原則として午前8時から午後5時までとする。						
(2)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」及びその他の関係法令を遵守すること。						
(3)中間処理は本都の承認を得た方法により行うこと。						
平成14年12月2日 新規許可						
平成19年12月2日 更新許可 第1回						
4.許可の更新・変更の状況						
平成23年7月28日 変更届 圧縮梱包機の機種変更による処理能力の変更						
平成25年12月28日 変更届 処分方法の追加(溶融)						
平成26年12月2日 更新許可 第2回						
5.規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無						
無						

【産業廃棄物収集運搬業】(2018.3.31現在)

行政	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	さ	動植物性残	ゴムくず	金属くず	ガラ陶	がれき類	鉢さい	ばいじん	備考	
	許可年月日																			
	許可期限																			
茨城県	00801072577																			優良評価 制度認定
	平成28年12月9日						●	●	●	●			●	●	●					
	平成35年11月28日																			
栃木県	00900072577																			優良評価 制度認定
	平成23年11月17日						●	●	●	●			●	●	●					
	平成30年11月16日																			
群馬県	01000072577																			優良評価 制度認定
	平成23年10月18日						●	●	●	●			●	●	●					
	平成30年10月17日																			
埼玉県	01102072577																			優良評価 制度認定
	平成25年8月29日						●	●	●	●			●	●	●					
	平成32年7月5日																			
千葉県	01200072577																			優良評価 制度認定
	平成25年9月1日						●	●	●	●			●	●	●					
	平成32年8月31日																			
東京都	01310072577																			産廃エキ スパ 優良産 廃業 者認定
	平成29年11月10日	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●		
	平成36年11月9日																			
神奈川県	01406072577																			優良評価 制度認定
	平成25年8月28日	●	●				●	●	●	●			●	●	●					
	平成32年8月27日																			
山梨県	01900072577																			優良評価 制度認定
	平成26年5月16日						●	●	●	●			●	●	●					
	平成33年5月15日																			
愛知県	02300072577																			優良評価 制度認定
	平成26年6月5日						●	●	●	●			●	●	●					
	平成31年6月4日																			

○保管積替含む ●保管積替なし

【一般廃棄物処分業許可】(2018.3.31現在)

行政	許可番号	木くず	紙くず	廃プラ	コンガラ	備考
	許可年月日					
	許可期限					
日の出町	28日生第1825号					
	平成28年6月1日	●		●	●	
	平成30年5月31日					

【一般廃棄物収集運搬業許可】(2018.3.31現在)

行政	許可番号	木くず	紙くず	廃プラ	コンガラ	備考
	許可年月日					
	許可期限					
日の出町	28日生第6048号					
	平成28年10月1日	●	●	●	●	
	平成30年9月30日					
福生市	指令福生環発第32号-3					
	平成28年6月1日	●	●	●	●	
	平成30年5月31日					
あきる野市	あ環生収第49号					
	平成28年6月11日	●	●	●	●	
	平成30年6月10日					
昭島市	28環清第19号					
	平成28年6月4日	●	●			
	平成30年6月3日					
瑞穂町	瑞住環許可第16-1号					
	平成28年6月9日	●	●			
	平成30年6月8日					
青梅市	許可収・運第84号					
	平成30年1月27日	●	●			
	平成32年1月26日					
羽村市	許可一廃収第56号					
	平成30年2月1日	●	●			
	平成32年1月31日					

■環境・安全への取り組み

あらゆるシーンで安全、コンプライアンスの徹底を図るため、営業、事務員、工場作業員、ドライバーなど職種別の社員教育はもとより、毎日の朝礼や点呼、毎月開催される安全衛生委員会や遵法会議等を通じて、最新の情報を共有し、確認を行っています。



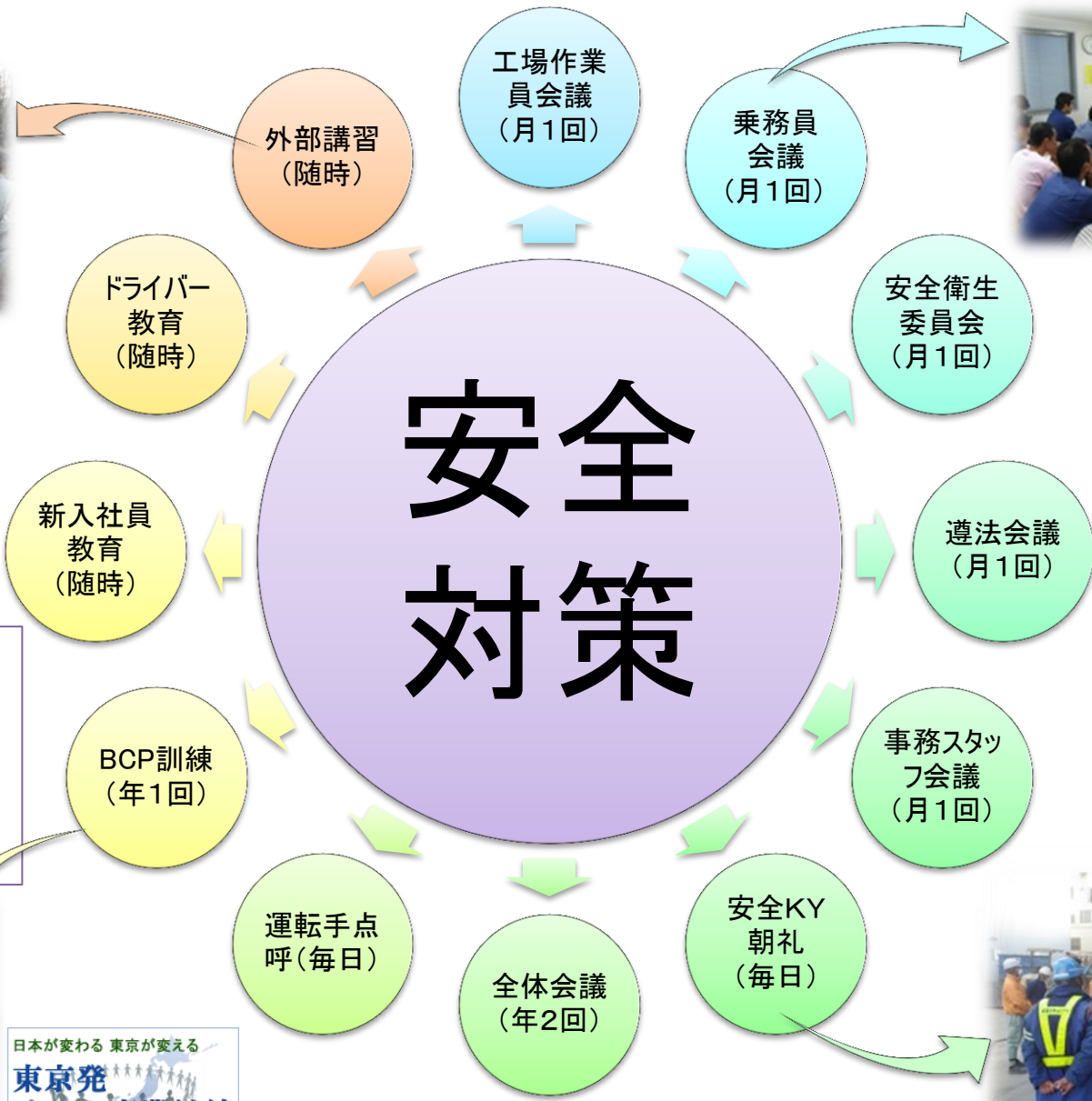
毎月実施される乗務員会議により、安全運転指導、エコドライブ指導はもとより、各種法律知識も教育しています。

BCP(事業継続計画)

BCP(事業継続計画)とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。
(中小企業庁HPより)



日本が変わる 東京が変わる
東京発
チーム事業継続



安全運転の取り組み

各車両とも、飛散流出防止のためにシート掛けにて運搬しています。

全車、自動車NOx・PM法対策済みの車両を使用しています。

ECOドライブ講習に積極的に参加しています。

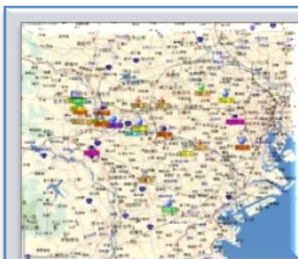
全車にドライブレコーダーを搭載し、エコドライブ及び安全運転に努めています。



車載器カメラ映像



運転診断表



GPSによる運行管理

運行車両全てにGPS・ドライブレコーダーを搭載し、配車センターにて集中管理しています。これにより、配車業務の効率化・運行経路の記録管理、到着予定時間の適確なご回答、安全運転・エコドライブやコンプライアンス管理を実現しています。

■施設等の状況(収取運搬車両・容器の種類・低排出ガス車導入状況)

多様多種の車両・分別容器を揃え、現場に合った再資源化のご提案をしています。



■4m3・6m3・8m3コンテナ設置による収集

大型建設現場や設置スペースのある事業場に最適。長さ13m(4t)9m(2t)高さ3.5mの作業スペースが必要です。
・対応車種: 2tアームロール車、4tアームロール車

■1m3エコパレット・2m3BOX設置による小口巡回回収

設置スペースの少ない作業所やゼロエミでの分別に最適。ユニック車でフレコンを交換いたします。
・対応車種: 4tユニック車、6tユニック車

■巡回回収車での定期回収

ハウスメーカー等、BOX設置スペースの無い作業所では、巡回回収車が定期的に回収に伺い、クリーンな作業環境を作ります。

■積み込み回収

BOX設置スペースが無かったり、大量に廃棄物が出る作業所では、ダンプ車にて回収にお伺いいたします。

■分別ヤードの設置・分別指導

環境美化や再資源化率の向上、処理費削減のための分別ヤードの設置協力、朝礼等での分別指導も行えます。

運搬車の排ガスレベル	台数	割合
全保有台数	33台	100.0%
①平成11年規制適合車	0台	0.0%
②平成12年基準低排出ガス車 良☆	0台	0.0%
③平成12年基準低排出ガス車 優☆☆	0台	0.0%
④平成12年基準低排出ガス車 超☆☆☆	0台	0.0%
⑤平成12年基準排出ガスPM75%低減ディーゼル車 ☆☆☆	0台	0.0%
⑥平成12年基準排出ガスPM85%低減ディーゼル車 ☆☆☆☆	5台	15.2%
⑦平成17年規制適合車	6台	18.2%
⑧平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆	0台	0.0%
⑨平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆☆	0台	0.0%
⑩平成17年基準NOx・PM10%低減重量車 ☆	0台	0.0%
⑪平成17年基準NOx・PM10%低減重量車 ★	9台	27.3%
⑫平成21年排出ガス基準10%低減☆	0台	0.0%
⑬平成22年規制適合車	3台	9.1%
⑭平成22年規制適合車/排出ガス10%低減車☆	9台	27.3%
⑮平成28年(ポストポスト新長期)排出ガス規制	1台	3.0%
2018.3.31現在		

運搬車の燃費低減レベル	台数	割合
全保有台数	33台	100.0%
平成17年度燃費基準達成車	①—	0台 0.0%
	②10%低減レベル	0台 0.0%
平成22年度燃費基準達成車	③—	0台 0.0%
	④5%低減レベル	0台 0.0%
	⑤10%低減レベル	1台 3.0%
	⑥15%低減レベル	0台 0.0%
平成27年度燃費基準達成車	⑦25%低減レベル	0台 0.0%
	⑧—	10台 30.3%
	⑨5%向上	1台 3.0%
⑩10%向上	4台 12.1%	
2018.3.31現在		

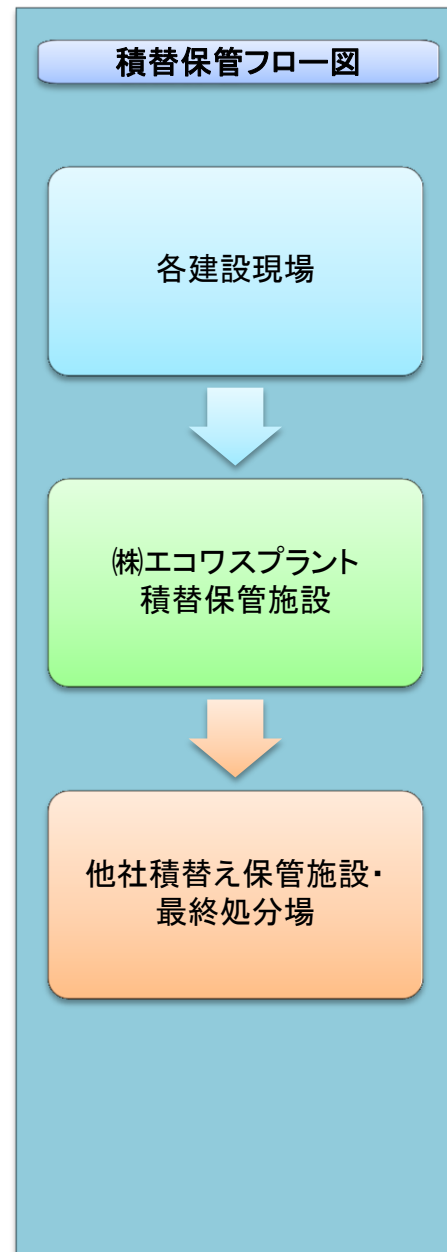
昨年度は車両を3台を廃車、1台を入替を行いました。排ガスレベル平成22年規制適合車以上が39.4%、平成27年度燃費基準達成車が45.5%となりました。

■施設等の状況(積替保管施設)

少量の産業廃棄物を積替保管施設にて保管し、大型車両でまとめて他の積替保管施設や最終処分場へ運搬しています。まとめて運搬を行うことで燃料使用によるCO2の削減に貢献しています。

【あきる野デポステーション】			
施設面積	3615.0㎡		
最大保管高さ	2.0m		
産業廃棄物の種類・保管量	汚泥	ドラム缶 2本	0.4m3
	廃油	ドラム缶 1本	0.2m3
	廃酸	ドラム缶 2本	0.4m3
	廃アルカリ	ドラム缶 2本	0.4m3
	廃プラスチック類	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	紙くず	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	木くず	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	廃プラスチック類、木くず、繊維くず(廃量)	直置き	19.4m3
	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	金属くず	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボード)	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、れき類(石綿含有産業廃棄物)	6m3コンテナ 3基	18.0m3
	汚泥、廃プラスチック類、金属くず(廃消火器)	鉄箱 1個	2.0m3
廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、金属くず(廃蛍光灯及び廃HIDランプ)(水銀使用製品産業廃棄物)	ドラム缶 4本	1.2m3	
保管量合計	79.9㎡		

【日の出積替保管施設】			
施設面積	2552.0㎡		
最大保管高さ	1.2m		
産業廃棄物の種類・保管量	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物)	8m3コンテナ 2基	16.0m3
	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、金属くず(廃蛍光灯及び廃HIDランプ)(水銀使用製品産業廃棄物)	ドラム缶2本 専用箱27個	3.84m3
保管量合計	19.84m3		



■ 施設等の状況 (処分業)

最新設備による破碎、圧縮・梱包、溶融、機械選別まで、分別ラインときめ細やかなマンパワーとの融合による安全・効率的な環境型処理システムを導入。より高い廃棄物の減量化・再資源化を実現しています。

【日の出リサイクルプラント】

施設面積	3,141.96㎡	
工場棟	1,372.45㎡	
選別棟	346.82㎡	
事務所棟	119.24㎡	
設置場所	東京都西多摩郡日の出町平井34番地1、34番地2、34番地10	
設置年月日	平成15年5月23日	
稼働時間	24h/日(許可時間)	
環境保全対策	局所集塵機・ミスト噴霧装置・屋内施設による騒音の低減低振動低騒音型重機の使用	
破碎施設1(油圧式二軸破碎機)		
構造・設備の概要	破碎室寸法	W1500mm×L1500mm
	動力	75kW
	廃プラスチック類	64.5t/日
	紙くず	114.7t/日
	木くず	157.9t/日
	繊維くず	64.5t/日
	ゴムくず	57.3t/日
	金属くず	121.9t/日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	537.6t/日
	がれき類	609.6t/日
混合	226.1t/日	
破碎施設2(一軸式破碎機)		
構造・設備の概要	破碎室寸法	W1090mm×L1200mm
	動力	55kW
	廃プラスチック類	19.6t/日
	紙くず	32.6t/日
	木くず	62.8t/日
	繊維くず	23.5t/日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(ガラスウール及びロックウールに限る)	3.3t/日
	混合	53.9t/日
破碎施設3(二軸式破碎機)		
構造・設備の概要	投入口寸法	1000mm×1000mm
	動力	22.5kW
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(廃石膏ボードに限る)	24.0t/日
圧縮・梱包		
構造・設備の概要	最大供給寸法	W3000mm×L2000mm
	動力	37kW
	廃プラスチック類	211.0t/日
	紙くず	217.0t/日
	木くず	283.0t/日
	繊維くず	354.0t/日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(ガラスウール及びロックウールに限る)	154.0t/日
	混合	224.0t/日
溶融		
構造・設備の概要	最大供給寸法	W980mm×L600mm
	動力	2.2kW
	廃プラスチック類(発泡スチロール・スチレンフォームに限る)	0.48t/日

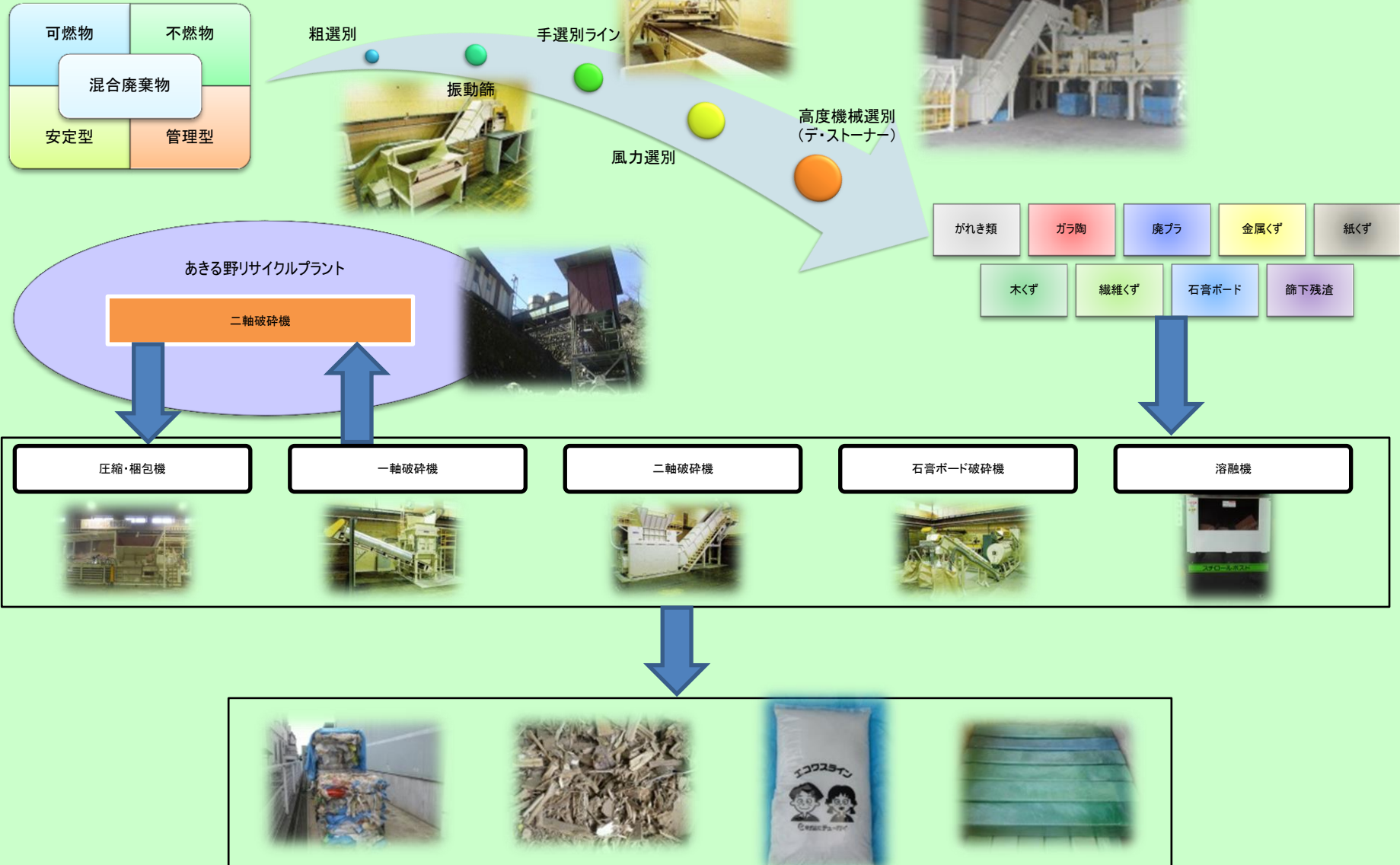
【あきる野リサイクルプラント】

施設面積	6,900㎡	
設置場所	東京都あきる野市養沢1095、1096	
設置年月日	平成13年2月1日	
稼働時間	8h/日(8時から5時まで)	
環境保全対策	散水による粉塵の防止・防音壁による騒音の低減低振動低騒音型重機の使用	
破碎施設:(二軸式破碎機)		
構造・設備の概要	廃プラスチック類	3.5t/日
	紙くず	7.0t/日
	木くず	14.0t/日
	繊維くず	4.5t/日
	金属くず	7.0t/日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	10.5t/日
	がれき類	18.5t/日
	混合	11.0t/日



分別ヤードで粗選別された残りの混合廃棄物は、フォークスクリーンにより土砂をふるい落としした後、コンベアに乗って選別ラインに送られます。熟練したマンパワーと磁選機、風力選別機により品目別に分別されます。ラインの最後には、風力選別機を装備し、可燃物と不燃物に分別します。不燃物は更に高度機械選別機『デ・ストーナー』により精選別されます。なお発生する篩下残差はセメント原料として再資源化されています。

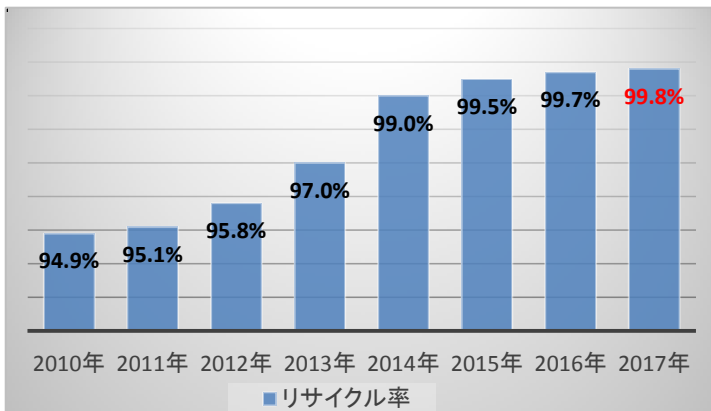
処分業フロー図



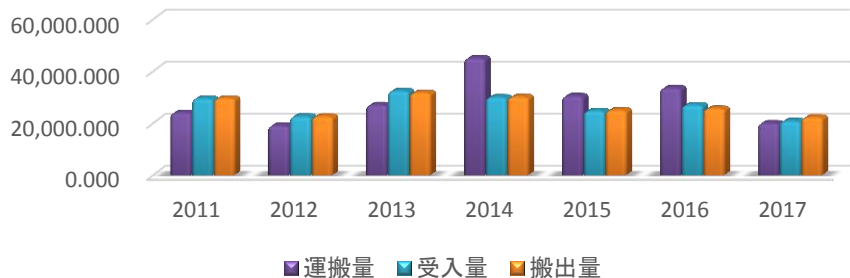
■ 事業規模の推移

平成29年度再資源化率**99.8%**を達成。
ゼロ・エミッションへ向けて日々チャレンジを重ねています。

年度	リサイクル率
2010年	94.90%
2011年	95.10%
2012年	95.80%
2013年	97.00%
2014年	99.00%
2015年	99.50%
2016年	99.70%
2017年	99.80%



活動規模	単位	2011/7/1 ~ 2012/6/30	2012/7/1 ~ 2013/3/31	2013/4/1 ~ 2014/3/31	2014/4/1 ~ 2015/3/31	2015/4/1 ~ 2016/3/31	2016/4/1 ~ 2017/3/31	2017/4/1 ~ 2018/3/31
		運搬量	t	24,047.114	19,125.148	27,026.631	45,050.854	30,464.850
受入量	t	29,539.789	22,645.618	32,431.626	30,055.324	24,790.382	27,024.536	20,830.960
搬出量	t	29,591.450	22,620.092	31,770.160	30,135.870	25,025.920	25,638.404	22,249.270
売上高	百万円	867	714	997	1,004	893	958	870
従業員	人	52	61	69	77	71	70	81
Eの 出	敷地面積	m2	3,141.41	3,141.41	3,141.41	3,141.41	3,141.41	3,141.41
	工場床面積	m2	1,641.26	1,641.26	1,641.26	1,641.26	1,641.26	1,641.26
	事務所床面積	m2	119.24	119.24	119.24	119.24	119.24	119.24
あ き の 野	敷地面積	m2	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00
	工場床面積	m2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	事務所床面積	m2	57.83	57.83	57.83	57.83	57.83	57.83



処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)		
(i) 収集運搬	廃プラスチック類		3,352.937		
	木くず		4,361.683		
	紙くず		1,310.344		
	繊維くず		20.771		
	廃石膏ボード		2,977.866		
	がれき類		4,527.564		
	ガラス・陶磁器くず		2,530.371		
	金属くず		800.964		
	廃アルカリ		0.000		
	廃油		0.000		
	汚泥		13.876		
	石綿含有産業廃棄物		119.180		
	水銀使用製品産業廃棄物		1.064		
	引火性廃油		0.265		
	強アルカリ		0.000		
収集運搬量合計			20,016.885		
(ii) 中間処理	廃プラスチック類	破碎、圧縮・梱包、溶融	3,727.538		
	木くず	破碎、圧縮・梱包	4,950.605		
	紙くず	破碎、圧縮・梱包	1,324.122		
	繊維くず	破碎、圧縮・梱包	23.544		
	廃石膏ボード	破碎	3,072.931		
	がれき類	破碎	4,379.598		
	ガラス・陶磁器くず	破碎、圧縮・梱包	2,506.201		
	金属くず	破碎	846.421		
	再資源化等				
	再資源化等量小計			0.000	
中間処理合計			20,830.960		
(iii) 最終処分	最終処分量合計			0.000	
	最終処分	廃プラスチック類	管理型・安定型埋立	8.050	
		紙くず	管理型埋立	0.000	
		木くず	管理型埋立	0.000	
		繊維くず	管理型埋立	0.000	
		金属くず	管理型・安定型埋立	0.000	
		ガラス・陶磁器くず	管理型・安定型埋立	10.800	
		がれき類	管理型・安定型埋立	3.000	
		廃石膏ボード	管理型埋立	32.420	
		(iv) 中間処理後の産業廃棄物 (処分委託)	再資源化等	廃プラスチック類	マテリアル(売却) マテリアル(委託) サーマル(委託)
紙くず				マテリアル(売却) サーマル(委託)	1,128.540 38.880
木くず	サーマル(売却) マテリアル(委託)			2,775.170 426.490	
繊維くず	サーマル(委託) マテリアル(委託)			2,110.770 20.450	
金属くず	マテリアル(売却) サーマル(委託)			932.940 0.000	
ガラス・陶磁器くず	マテリアル(委託) サーマル(委託)			2,704.640 32.090	
がれき類	マテリアル(委託)			4,698.570	
廃石膏ボード	マテリアル(売却) マテリアル(委託)			728.980 2,586.510	
再資源化等量小計				22,195.000	
中間処理後処分量合計				22,249.270	

■エコアクション21環境目標

弊社の事業の特性上、主な環境負荷の項目として下記4点を環境目標の項目として挙げ、当社の現在の状況を考慮して、数値目標を設定しました。(2016年度対比)

エコアクション21環境目標

二酸化炭素の排出削減

上下水道の使用量の削減

自社廃棄物の排出量の削減

受託廃棄物のリサイクル率向上



		日の出リサイクルプラント					
環境目標	基準年度(2016年)		中長期目標				
			17年4月～18年3月	18年4月～19年3月	19年4月～20年3月	20年4月～21年3月	21年4月～22年3月
1. 二酸化炭素排出量削減 (①・②・③・④・⑤のCO2の削減)	22.36kg-CO2/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		排出量	22.36kg-CO2/t	22.36kg-CO2/t	22.36kg-CO2/t	22.36kg-CO2/t	22.36kg-CO2/t
①電力消費量削減	8.80kWh/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	8.80kWh/t	8.80kWh/t	8.80kWh/t	8.80kWh/t	8.80kWh/t
②車両燃料消費量削減 (軽油)	5.39L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	5.39L/t	5.39L/t	5.39L/t	5.39L/t	5.39L/t
③車両燃料消費量削減 (ガソリン)	0.15L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	0.15L/t	0.15L/t	0.15L/t	0.15L/t	0.15L/t
④重機燃料消費量削減 (軽油)	1.64L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	1.64L/t	1.64L/t	1.64L/t	1.64L/t	1.64L/t
⑤重機燃料消費量削減 (LPガス)	0.10L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	0.10L/t	0.10L/t	0.10L/t	0.10L/t	0.10L/t
2. 自社廃棄物排出量削減 ①厨芥ごみ	38.72kg	対基準年削減%	対基準年0.10%削減	対基準年0.20%削減	対基準年0.30%削減	対基準年0.50%削減	対基準年0.60%削減
		排出量	38.68kg	38.64kg	38.60kg	38.57kg	38.53kg
②紙くず排出量の削減	373.78kg	対基準年削減%	対基準年0.10%削減	対基準年0.20%削減	対基準年0.30%削減	対基準年0.50%削減	対基準年0.60%削減
		排出量	373.41kg	373.03kg	372.66kg	372.28kg	371.91kg
3. グリーン購入の推進 (グリーン購入対象品目)	100%	対基準年向上%	—	—	—	—	—
		購入率	100%	100%	100%	100%	100%
4. 受託廃棄物の リサイクル率の向上	99.7%	対基準年向上%	—	—	—	—	—
		R率	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%
①マテリアルリサイクル	67.5%	対基準年向上%	0.3%	0.4%	0.5%	0.6%	0.7%
		R率	67.8%	67.9%	68.0%	68.1%	68.2%
①サーマルリサイクル	32.2%	対基準年向上%	-0.3%	-0.4%	-0.5%	-0.6%	-0.7%
		R率	31.9%	31.8%	31.7%	31.6%	31.5%
5. 水道使用量削減	2,368L	対基準年削減%	対基準年0.2%削減	対基準年0.4%削減	対基準年0.6%削減	対基準年0.8%削減	対基準年1.0%削減
		消費量	2,363L	2,359L	2,354L	2,349L	2,344L
6. 振動・騒音の発生の防止	法定基準の遵守		年一回の定期測定				
7. 地域環境美化の実施			工場周辺の清掃(毎週)				

*電力実排係数:0.521kg-co2/kwh(大和ハウス工業株2015年度)

		あきる野リサイクルプラント					
環境目標	基準年度(2016年)		中長期目標				
			17年4月～18年3月	18年4月～19年3月	19年4月～20年3月	20年4月～21年3月	21年4月～22年3月
1. 二酸化炭素排出量削減 (①・②・③・④・⑤のCO2の削減)	1.67kg-CO2/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		排出量	1.67kg-CO2/t	1.67kg-CO2/t	1.67kg-CO2/t	1.67kg-CO2/t	1.67kg-CO2/t
①電力消費量削減	1.14kWh/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	1.14kWh/t	1.14kWh/t	1.14kWh/t	1.14kWh/t	1.14kWh/t
②重機燃料消費量削減 (軽油)	0.47L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	0.47L/t	0.47L/t	0.47L/t	0.47L/t	0.47L/t
6. 振動・騒音の発生の防止	法定基準の遵守		年一回の定期測定				
7. 地域環境美化の実施			工場周辺の清掃(毎週)				

*電力実排係数:0.521kg-co2/kwh(大和ハウス工業株2015年度)

■環境保全活動の取り組み結果の評価

前ページに記載されているエコアクション21中長期目標達成の為、環境への取組の自己チェックリストを設定し、実施状況を確認しております。

【EA21運用開始前】		
評価日:2017.5.9 澤田確認		
大項目／評価点／満点／環境保全取組度数 ※一覧表		
1. 事業活動へのインプットに関する項目	大項目結果	222／222
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	大項目結果	92／94
3. 製品及びサービスに関する項目	大項目結果	126／126
4. その他	大項目結果	48／48
総合結果		488／490

【EA21運用後:2017年4月1日～2018年3月31日】		
評価日:2018.5.14 澤田確認		
大項目／評価点／満点／環境保全取組度数 ※一覧表		
1. 事業活動へのインプットに関する項目	大項目結果	222／222
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	大項目結果	92／94
3. 製品及びサービスに関する項目	大項目結果	126／126
4. その他	大項目結果	48／48
総合結果		488／490

■環境活動計画の概要・取組結果

全従業員を対象に年度初めの各種会議において取組内容を説明し、目標達成に向け電力・燃料・水の削減、リサイクル率の向上、自社廃棄物の発生抑制に努めました。

電力

- ・ 昼夜作業を問わず、未使用の部屋・ヤードの消灯の徹底
- ・ 未稼働の設置機械の主電源offの徹底(モニター管理)
- ・ 電力管理システムによるデマンド管理
- ・ 室内温度夏季28度、冬季20度の徹底

軽油・ガソリン

- ・ 社用車、収集運搬車両のエコ運転の実施
- ・ アイドリングストップ
- ・ 制限速度厳守
- ・ タイヤ空気圧の適正化
- ・ 急発進及び急停止の禁止

水

- ・ 漏洩チェックによる上水使用量の削減
- ・ 過剰な散水等の禁止
- ・ スウィーパー使用により散水削減により削減

リサイクル率

- ・ 選別の徹底により埋立・焼却処分量を削減し、リサイクル率の向上
- ・ マテリアルリサイクル率の向上
- ・ サーマルリサイクル率の削減

自社廃棄物

- ・ PC入力保存によりペーパーレス化をはかり、紙くず排出量の削減
- ・ マイバックによる購入での包装材の削減

グリーン購入

- ・ 事務用品のグリーン購入への取組み

環境目標		目標値	実績値 (目標対比)	評価
ESG	二酸化炭素排出量	22.36kg-CO2/t	23.69kg-CO2/t (+1.33kg-CO2/t)	×
	電力消費量削減	8.80kWh/t	9.60kWh/t (+0.80kWh/t)	×
	車両燃料消費量削減 (軽油)	5.39L/t	5.02L/t (-0.37L/t)	○
	車両燃料消費量削減 (ガソリン)	0.15L/t	0.21L/t (+0.06L/t)	×
	重機燃料消費量削減 (軽油)	1.64L/t	1.78L/t (+0.14L/t)	×
	重機燃料消費量削減 (LPガス)	0.10L/t	0.12L/t (+0.02L/t)	×
	水の消費の削減	2,363L	2,318L (-45L)	○
	グリーン購入	100%	100% (—)	○
	自社廃棄物(厨芥)の削減	38.68kg	81.62kg (+42.94kg)	×
	自社廃棄物(紙くず)の削減	373.41kg	368.42kg (-4.99kg)	○
SDGs	受託産業廃棄物のリサイクル率の向上	99.7%	99.8% (+0.1%)	○
	マテリアルリサイクル率の向上	67.8%	63.5% (-4.3%)	×
	サーマルリサイクル率の削減	31.9%	36.2% (+4.3%)	×
	二酸化炭素排出量	1.67kg-CO2/t	1.94kg-CO2/t (+0.27kg-CO2/t)	×
SDGs	電力消費量削減	1.05Wh/t	1.30kWh/t (+0.25kWh/t)	×
	重機燃料消費量削減	0.48L/t	0.48L/t (±0.00L/t)	○

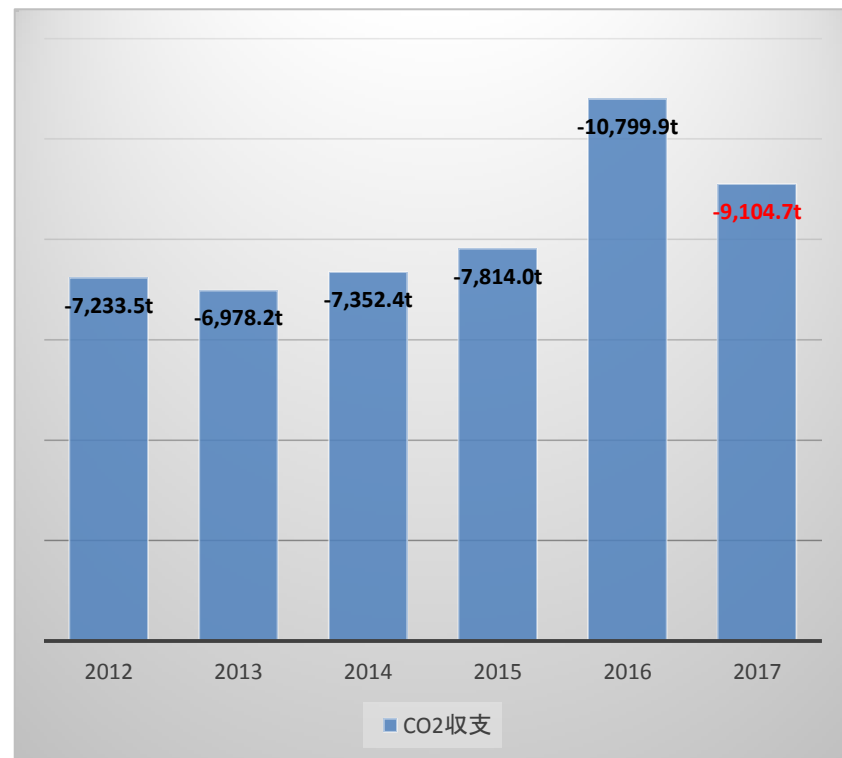
*電力実排出係数:0.521kg-co2/kwh (大和ハウス工業㈱2015年度)

CO2収支結果

弊社の事業活動に伴って発生したCO2(燃料・電力)を排出係数、発熱量をもとに算出いたしました。また、同じく事業活動に伴って代替燃料供給によるCO2削減量を排出係数をもとに算出しました。弊社の事業活動によるCO2発生量に対し、約7.27倍の資源エネルギーの供給実績となりました。

平成29年度(平成29年4月～平成30年3月)					
事業活動でのCO2発生状況	資源消費	使用量	CO2発生量	排出係数	発熱量
	ガソリン	9,397ℓ	21.8 t	0.0671	34.6
	軽油	323,401ℓ	848.7 t	0.0687	38.2
	電力	484,743kWh	252.6 t	0.5210	
	液化石油ガス	5,355 kg	16.1 t	0.0598	50.2
	合計		1,139.2 t		
代替燃料供給によるCO2削減	供給資源	資源供給量	CO2換算量	排出係数	発熱量
	バイオマス発電	1,695.94 t	542.7 t	0.3200	
	セメント代替燃料	8,149.04 t	9,289.9 t	1.1400	
	ガス化溶融発電	800.18 t	411.3 t	0.5140	
	合計		10,243.9 t		
CO2収支結果			-9,104.7 t		

※代替燃料供給によるCO2削減のバイオマス発電・セメント代替燃料・ガス化溶融発電の排出係数は、複数の搬出先の各排出係数の平均値で算出しております。



■今年度の反省および次年度取組内容

2016年度に蛇口を不完全に閉めていたために水道使用量が大幅に増加してしまったことを受けて、今年度は蛇口の定期巡回を実施し、漏水の防止に努めたところ、目標値を達成することが出来ました。

しかしながら、二酸化炭素排出量は日の出りサイクルプラント、あきる野リサイクルプラント共に達成することができませんでした。夏場に電力デマンド値が過去最高の161kWhを記録し、それに伴う大量の電力を供給させてしまったことが大きな原因と考えます。来年度はプラント内の電力削減に力を入れていきたいと思えます。

また、自社廃棄物の厨芥ゴミは目標値の2倍以上の排出をしてしまいました原因はドルチェグスト(専用カプセルで1杯ずつ抽出するタイプのコーヒーマーカー)を導入したことです。使用後のカプセル内に水分(熱湯)が残ってしまい、絞ることも、乾かすこともできないのでそのまま廃棄しなければなりません。ドルチェグスト1回あたりのカプセル内の水分の重量は39gでした。1日平均4回使用すると、年間では約40kgの増加が見込まれます。よって、今年度の実績値81.62kgを目標とします。

更に、社会情勢の変化によりマテリアルリサイクルが非常に難しくなりました。この為、マテリアルの数量を一部サーマルに換算し直した結果、2018年度の予測マテリアルリサイクル率は63.3%、予測サーマルリサイクル率36.5%でした。ここにマテリアルリサイクル0.1%向上、サーマルリサイクル率0.2%削減をし、マテリアルリサイクル率63.4%、サーマルリサイクル率36.3%を新たな目標値として設定します。

株式会社 エコワスプラント
環境管理責任者 澤田 鉄平

■代表者のコメント

平成29年度の入入れ量は平成28年度に比べ17%のマイナスとなりました。これは、当社の働き方改革の一環で従業員の労働負荷を削減する取り組みによるものです。しかしながら廃棄物再資源化率向上のため工場稼働時間は前年度と変わらず、その結果、電力及び重機における分母の負担が多くなりCO2削減目標は達成できませんでした。収集運搬部門の車両燃料の消費量はエコドライブ教育の成果が表れ大きく削減でき、また再資源化率については99.8%という満足のいく結果を残す事ができました。

上下水道の使用量や紙屑の使用量については、目標を達成することができ、大きな成果を挙げられました。

平成30年度は、重機作業や工場稼働が効率的に実施できるよう見直しを行い、目標達成にむけ努力し、CO2削減に寄与して参りたいと思えます。

株式会社 エコワスプラント
代表取締役 浅尾 洋和

■その他環境活動・社会貢献活動

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・環境関連法規制の遵守状況のまとめの一覧表に基づき、チェックを行った結果、法律・条例について、違反はありません。
- ・環境関連法規制に関する訴訟はありません。

環境コミュニケーション

- ・(株)エコワスプラント 日の出りサイクルプラントでは、企業の方・地域の方などの工場見学を随時受け入れています。
- ・2017年4月～2018年3月にかけて、行政・企業の環境担当の方25社の方々が工場見学されました。



近隣清掃

毎月第一月曜日に近隣にポイ捨てされた廃棄物を回収しています。
2017年4月～2018年3月までで39.28kgを回収いたしました。



障がい者・高齢者雇用

働き場の少ない障がい者、高齢者の方々を積極的に受け入れ、其々の適性に見合った業務を行って頂いています。写真は障がい者の方がプラスチック被覆材を剥離した動線です。(2018年3月31日の実雇用率:3.70%)



健康優良企業認定

健康優良企業に認定されました。企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、一定の成果を上げた事により「健康優良企業」として認定されました。引き続き、従業員の健康と安全を第一に考え、雇用環境の更なる向上に努めてまいります。